

# さとしゅう

議会だより

No. 75  
2014.1.31



岡山県 里庄町議会



- 補正予算 4 件、全会一致で可決 ..... ( 3 )
- 子ども・子育て会議、具体的に何をする(質疑より) ..... ( 4~ )
- 町営墓地は特別会計で(条例の制定と一部改正) ..... ( 7 )
- 町政を問う(6人が登壇) ..... ( 10 )
- シリーズ“地域の子どもたち” ..... ( 16 )

祝成人

# 定例会

## 可決!!

●後期高齢者医療特別会計

# 当初予算は否決

賛成 4 : 反対 5

(全会一致)

平成25年第9回里庄町議会定例会は、12月16日から20日までの会期で開かれました。議案は、平成25年の本予算1件、補正予算4件、条例の制定と一部改正7件、町道路線の廃止と認定各1件、人事案件1件、工事請負契約の変更契約の締結が1件、事務の委託に関する協議1件を上程しました。

上程された議案等のうち、介護老人保健施設特別会計本予算は否決され、暫定予算が12月26日に開かれた臨時会で可決。そのほかの議案は原案どおり可決しました。

なお、一般質問では6人の議員が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

### 駐車場整備に

554万円

図書館北の四つ葉の家と北側隣接地の町有地を駐車場として整備するため554万円を計上しました。

### 中央公民館補修工事

420万円

中央公民館のひさし設置やタイル補修工事に420万円を計上しました。

### 子ども子育て支援

759万円

平成27年度から地域の実情に応じた子ども・子育て支援を総合的に推進する新制度が始まります。その導入に向けてのシステム構築委託料として756万円を計上しました。

### 保険給付費に

7500万円

国民健康保険特別会計では、今年度に入り医療費が急激に伸びています。これは受診者数や高額医療の増加等が要因としてあり、保険給付費に7500万円を追加計上しました。

## 12月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計	41億4918万円	3438万円)
国民健康保険特別	12億5822万円	7498万円)
介護保険特別	8億8085万円	(0円)
後期高齢者医療特別	1億2543万円	(39万円)

# 補正予算4件は全会一致で

- 一般会計
- 国民健康保険特別会計
- 介護保険特別会計

## 介護老人保健施設特別会計

その後 臨時会で暫定予算(2月末まで)を可決



夢膨らむ新たなスタート

### ここが反対!

#### 要求されるままの予算

岡村咲津紀議員

人事管理費ついて、十分な説明を受けることができていない。

ユニホーム代。萌生会が要求すれば、全て承諾して予算を組む。

要求されるがままの金額を予算に計上することに納得できない。

### ここが反対!

#### 否決された予算、改善されず

高田卓司議員

3月、6月、9月議会で否決された予算の内容が改善されず、12月議会に提案されても賛成できるはずがない。

配賦経費の本部人件費や人事管理費の根拠については、曖昧な答弁のまま。もう少し考えて予算を組むべき。

# 質 疑

▼人事管理費、具体的金額は  
▼子ども・子育て会議は何をする

介護老人保健施設特別会計は4人、条例の制定・一部改正は4人、町道路線の認定は1人が質疑を行いました。

## 介護老人保健施設 特別会計予算

### 人事管理費、具体的金額は

**岡村議員** 人事管理費は諸経費と、派遣するための対価と聞いているが具体的な金額は。

**里見川荘事務長** 人事管理に係る必要経費及びそれに伴う対価、一般的な委託料で利益も含んだ諸経費に当たるもの。それぞれいくらかは言うことはできない。

### 契約書に無い事をしてる

**眞野議員** 処遇改善金は歳入のどこにあるのか。契約書では1月末までに委託料の額を算定する根拠をそえて提示するとなっているが、なぜ5月6月の金額を使っているのか。

**副町長** 3月議会で否決されたので、改めて最新の人事の予定の配置等を計算してほしいとお願いした。1月に出してもらっていたが、否決になったから、より新しいものの数値を用いた。契約書は基本になる考えだから、大切にしたいと考える。

**里見川荘事務長** 処遇改善金は、改善加算という項目で、施設サービス収入の中に入れてる。

### 人事管理費を上げた根拠は

**高田議員** 人事管理費を2%上げた根拠は何か。説明できないものを払うのか。内訳をきちんと出して欲しい。

入所者の食費は350万円の減、居住費は逆に400万円の増となっているのはなぜか。運営協議会を3回の予定から、なぜ1回にしたのか。

ユニホーム代52万9000円は、誰のユニホーム代で何人分か。

**副町長** 要望は15%だったが話し合いで12%で決着した。配賦経費も含んでいる。

**里見川荘事務長** 食費の減は、低所得者の方に

けた制度で1日分の食費1380円を、低所得者の方の負担は390円、残りの990円は公費で賄うため。

居住費の増は、個人負担分として計上すべきところを、公費のほうで計算していたことが、判明し正しい計算にやり直した。

ユニホーム代は現場から要望があり、看護、介護職員55人分。運営協議会は、3月までに1回は開きたい。

**町長** 居住費と食費の差額が出たのは、特定入所者のその部分計上の仕方が間違っていた。

## 運営協議会が開かれてないが

**平野議員** 運営協議会を全然開いてない。理由は何か。

居宅介護支援事業は今後も町が取り組むのか。

**町長** 特別会計も否決され、暫定予算を組む中で運営協議会を開いても、難しい状況だった。

**副町長** 居宅介護支援事業所は、通所の方のサービスの計画を立てるということで、三十数名の方が利用している。

引き続き介護サービス計画を立てることを協議している。



新春のつどい(昭美会)

## 子ども・子育て会議 設置条例

### 具体的に何をやる

**眞野議員** ①子ども・子育て会議で具体的に何をやる予定か。また問題点課題は。

②保護者代表を公募によって決めるとももある。公募する予定はあるのか。

③会議の開催予定はどうか。

**町民課長** ①現在どのような子育て支援を必要としているのかニーズ調査をしている。その集計をもとに子ども・子育て会議でこれから計画を策定していく。

今まで少子化対策に向けてさまざまな施策を展開してきた。人口も増え、子どもの数も増えている。待機児童解消に向けて、

取り組んでいかなければならない。

②保護者代表ということ前で、現時点では公募は前提としていない。

③アンケートの集計結果が出て、2月に1回目を見て、26年度中に2回から3回になるのではないかと思う。

## 委員に専門員などを入れたら

**岡村議員** ①障害児の支援員、専門員等や、民間企業の方をメンバーに入れてはどうか。

②国の新たな子育て支援制度について、地域のニーズに合ったやり方の見直しはどうか。

**町民課長** ①委員は、15名以内で構成となっている。現時点では12名、あと3名定員数があるので、障害児童等の専門員、企

業の代表も十分考えられると思うので、検討したい。

②今回のニーズ調査がその大きな第一歩になる。今まで保育園の認定は町民課、幼稚園は教育委員会になっていた。法が施行された後は、窓口も一体化していかないといけないと考えている。

## 定着が心配だ

**辻田議員** 縦割り行政の定着が非常に心配だがその辺の絞り込みをできたらと思うが、どうか。

**町民課長** 縦割り行政の弊害をなくすために窓口を一本化していく。

当然幼稚園、小学校は

教育委員会、福祉の分野における子育ては健康福祉課、保育園は町民課というふうに分かれています。一体的に推進していくため、今3者で協議をしながら進めている。

## 墓地特別会計設置条例の制定

### 弾力条項の内容は

**眞野議員** 町営墓地特別会計設置条例の制定の中に、弾力条項の適用とあるが、この内容は。

また、目的外に使えるのか、流用できるのか。

**町民課長** 業務量の増加によって増加する収入に

相当する金額を業務のため

に直接必要な経費に使用する

場合、別段の予算措置は必要とせず、弾力

条項が通用できる。また、目的外に使用できない。

### 弾力条項のわかりやすい説明を

**高田議員** 弾力条項とい

う条例を初めて耳にした。こういう言葉は議案の説明のときに、わかりやすい説明を。

**町民課長** 今後は、できるだけわかりやすい説明を心がけたい。

## 水道事業給水条例の一部改正

### 料金体系は変わらないのか

**高田議員** 改正前は消費税込みの値段で書いてあったものが、改正後は、消費税抜きでプラス消費税となっている。料金体系は変わらないのか。

また、水道料金は従来から減免措置をすると明記していたが下水道にはそれがなかったから今回入れたのか。

**上下水道課長** 今回は外税方式とする。

今までの運用とは何も変わってなく、水道料金で減免した場合は下水道も同じように105円減免するものでなく、水道料金で減免した場合は下水道の使用料は減免しないとはつきりさせた。

## 町道路線の認定

### 補助金はもらえるのか

**平野議員** 現在、県道の上へ跨線橋がかかっている。これを町道とすることで、補助金等はあるのか。

施工は、県から補助金はもらったのか。

**農林建設課長** 昭和56年

に供用開始したJR山陽本線部分は、開発事業者から5500万円の指定寄附金をもらい、町が発注、施工した。

平成3年に供用開始した県道園井里庄線部分は、資料が無く、町の決算書にも計上していない。断定はできないが、県が整備を行ったものと思われる。

補修等は、これから県や国と協議を行い、補助金等をもらうことで町の財政的負担の軽減を図りながら進める。



公共下水道敷設工事(殿迫地区)

## 町道路線の廃止と認定

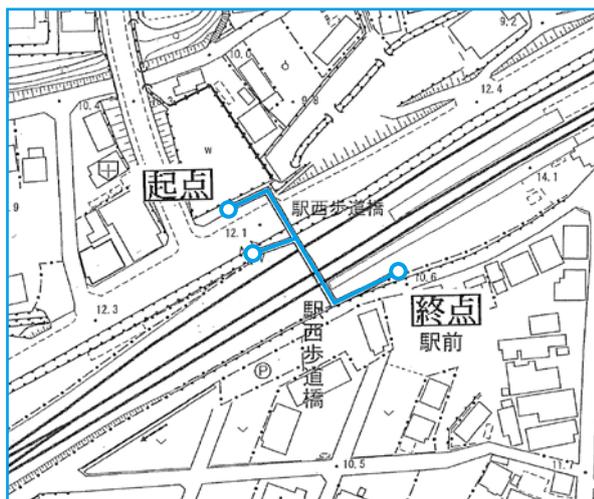
委員会に付託された町道路線の廃止と認定の2議案を審議するため、委員会を12月18日に開催し、現地調査を行い、担当課から説明を受けた後、慎重に審議を行いました。廃止する町道の近くには、代替道路もあり、利用関係者、分館長の同意も得られています。

認定する道路とは、グリーンクエスト下の県道とJRをまたぐ跨線橋です。今後の維持管理を考え、町道にする必要があるとのことでした。

いずれも問題はなく、全会一致で原案を可決しました。



廃止路線



認定路線

## 町条例

### 里庄町子ども・子育て会議設置条例の制定

地域の実情に応じた子ども・子育て支援事業計画を策定するため、調査と審議する附属機関として子ども・子育て会議を設置します。

### 町営墓地の設置及び管理に関する条例の制定

#### 里庄町営墓地特別会計設置条例の制定

町営墓地の適正な管理のため、特別会計の設置に係る条例を制定します。

平成26年4月1日から消費税率が8%に引き上げられることから次の条例の一部を改正します。

- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する条例
- ・ 水道事業給水条例
- ・ 公共下水道条例
- ・ 準用河川条例

(すべて全会一致で可決)

## 選挙結果

1月21日告示、26日投票の里庄町議会議員補欠選挙と里庄町長選挙の結果は次の通りです。

### 町議会議員補欠選挙

**当選**  
小野 光章 氏  
3369票

田辺 博樹 氏  
1727票

### 町長選挙

**当選**  
大内 恒章 氏  
3647票

仁科 英磨 氏  
1783票



完成が待たれる四つ葉の家

## 人事

### 人権擁護委員

里庄町大字里見

9283番地1  
定兼 美智子氏

### 請願

「消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する請願」は再び閉会中の継続審査に

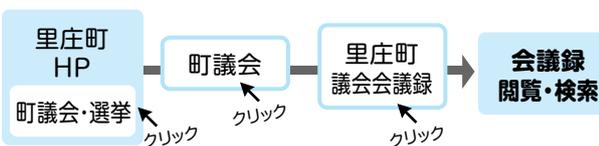
#### 趣旨

12月6日に総務文教委員会を開催し、慎重に審査を行いました。

複数税率の導入と軽減税率の適用について新聞が対象となるのかを調査、審査するためには時間を要するとの意見により、閉会中の継続審査となりました。

議会会議録は里庄町のホームページからご覧になれます。

<http://www.gijiroku.net/town.satoshoh/>



# 新年の挨拶



里庄町議会議長  
**岡本 雅道**

輝かしい新春を迎え、議会を代表し、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、町民の皆様には日頃から議会活動に深いご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

しかし、東日本大震災復興への取り組みに対しては、まだまだ多額の国費が投入され、引き続き厳しい経済状況であることに変わりありません。

地方交付税は削減され、国県の補助金も期待できない中、本町においては、議会と執行部が丸とあって、自主財源の確保に努めながら、簡素で効率的な行財政運営に取り組みなければなりません。

また、町が抱える問題

や議会の活動状況を「議会だより」等を通じて、情報公開に努め、わかりやすくお伝えし、町民皆様の付託に応えるべく、全力を投じる覚悟でございます。

議会としての役割を果たしながら、本町発展に向け取り組んでまいります。

最後になりましたが、町民皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。

副議長



**岡村 咲津紀**

議員



**松原 繁之**

議員



**小野 光三**

議員



**平野 敏弘**

議員



**高田 卓司**

議員



**眞野 博文**

議員



**辻田 勝之**

議員



**原田 順夫**

議員



**小野 光章**

# 一般質問

## 町政を問う

町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

※原稿は質問者が作成しています。

### 4年間の評価は

町長／点数は65点



平野 敏弘 議員

**問** 町長は、町長選挙に出馬表明した。

4年間の任期を振り返り、町民に対して自身の評価は。

里見川荘の問題で議会と対立したのは、一番の問題である。

企業誘致では、法人税や所得税を落とすとしてくれる企業をなぜ逃がしたのか。

町政をよくすると思う

**町長**

のは執行部も議会も一緒である。今後、議会との対立があった場合、どうやっていくのか。お互いに力を合わせて、町民のためにやっていくのか。

里見川荘の問題で、議会の理解を得られなかったのは残念だったが、町民には理解をもらった。最終的に議会の議決を得た。

子育てや、学校教育の

支援に力を入れ、効果もあり町内に家を建てる若い人が増え、活気ある町になっている。

職員の意識も徐々に変わりスピード感を意識し、町民への対応もよくなった。職員とともに4年間やってきたという実感である。

点数は65点ぐらいで、マイナスの35点は、私の直線的な行動やある程度、下話をして環境を整え、

物事に対処する事が不十分であり、それが欠点だと思う。悔いを残したということはない。

企業誘致は、昨年の2月から8月まで私自身、非常に努力した。その後、次のオファーが来ており、交渉や段取りをしている。

議会と理解を深め、協力していける体制をつくり、努力しようと思っている。

## 事務局長は現職員を昇格しては

町長／新事務局長を採用

**問**

シルバー人材センターの事務局長が3月末で定年退職の予定である。次の事務局長は現在シルバーで働いている職員を昇格させるべきと思うがどうか。

**町長**

現時点では、新しい事務局長を募集する予定。シルバー人材センターで仕事に従

事する高齢者の方から、人望を得られる必要があることや、従事する方に対し指導を行う必要がある、年齢の高い60歳前後の方を想定している。

円滑な引き継ぎを実施する観点から、現事務局長にも一定期間来てもらう、シルバー人材センターの運営に支障が生じないように配慮する。

その他の質問

Q 来年度の予算編成で基金の取り崩しほどの程度か。

A 現段階では明確に答えがでないが、3億円前後になると思う

Q 里見川荘の職員はどうなる

A 萌生会と交渉中

Q 県道園井里庄線の町への移管見直しの交渉は必要は言っている

岡村咲津紀 議員



# 管理人は2代続けて大原西分館

## 町長／応募者はずば抜けてよかった

### 問

運動公園管理人の採用は、公募の前から採用が決まっていた。前管理者が発言していた。

公募の前から大原西の地域を特定し、50代後半の人が採用されるとうわさが流れていた。

事実ならば、管理人は2代続けて大原西分館となる。

最初から合格者が決まっているのなら、真剣な気持ちで応募した方に対し非常に残念である。

町内には日ごろから、職員採用に関しては、このようなうわさが蔓延している。

町に不信感を持ち、職員採用に応募してもどうせ決まっているということで、優秀な人材確保が難しくなるのではないかと、今回の選考に関し、他の受験者に対し、何が一番すぐれていたのか。

町長の就任以来、これまで採用した職員の総数は。

### 総務課長

結果として大原西分館。

町長就任後からの職員採用は、正規・嘱託職員合わせて32人。その中大原地区は6人である。

### 副町長

今回の応募者は12名。

運動公園は、運動広場でスポーツや、コミュニケーションを深める事業、公園の周りをシルバーに依頼し、管理すること、体力的なことも必要。

今回は、一番はつきりと目標を持ち、体力的にも能力的にもすぐれていた。

### 町長

今回はいい人が応募してくれた。非常にずば抜けてよかった。

# 消防団の将来像は

## 総務課長／大規模災害時の対応強化

### 問

消防団活動は、組織制度の多様化で時代に対応する団員確保のため、機能別団員、機能別分団の設置を、総務省は指導をしている。町は消防団活動の将来像をどのように考えているのか。

消防団活動は、を取り巻く環境は年々厳しく、時代の要求にふさわしい消防団づくりは大きな課題である。

町は、現在2分館に自主防災組織を設立。今後力向上を図る予定である。

### 総務課長

団員数は減少傾向にあり、団員の高齢化も進み、消防団

自主防災組織等の知識、情報、技能の習得。活動体制の充実を進めるために、消防団は、分



消防団の操法訓練

館や婦人防火クラブ等との関連団体と連携した訓練や災害活動の強化を図り、大規模災害時の対応の強化を図りたい。

消防団は、高齢者などの災害弱者、要援護者に関する情報が十分ではない。各地域で役割分担や連携体制等を再構築、再点検し、訓練を通じた連携強化に努めていきたい。団の活動や現状を地域住民に理解を深めてもらい、分館等に継続的な支援体制の構築も働きかけていきたい。

### その他の質問

- Q 人件費に上乘せした1411万円は萌生会の水増し請求なのでは
- A 町と萌生会が協議の上、適当と判断した
- Q 萌生会事務職員の人件費を負担する根拠は
- A 老健施設の契約書第7条に規定する経費に該当する

# 防災に対する取り組みは

町長／積極的に進めていく

## 問

防災には危機意識を持った、継続的な繰り返し訓練が必要と言われている。

今までに平成20年に大原地区、平成22年に中学生、平成25年に浜中地区の防災訓練を行っている。  
**①**他の地区も早急に実施する必要があるが、いつどのようにするのか。  
**②**自主防災組織の作り方ややり方などのマニュアルを分館長に情報提供して、避難所の見直しもするべきではないか。  
**③**土石流、地震、津波などの災害別のマニュアルを作るべきではないか。

## 総務課長

**①**来年度も分館長の意見を聞いて

て実施したい。

どのような災害を想定をして、実施するかはまだ決めていない。

**②**25年度中に分館長の意見、要望を聞いて避難場所の指定を行いたい。

## 町長

**①**大西、大中も訓練を行ったが、防災組織ができたので秋ぐらいには訓練をしたいと聞いている。

26年度前半には里見地区でやりたい。

年間2回ぐらいできればと思っている。

**②**2月の分館長会議でアンケートとか要望の資料を出したい。

自主防災組織を立ち上げ、訓練ができるひな形

を分館長会議に提示する。  
**③**町の地形に合ったマニュアルをつくるべきと思う。



防災訓練(浜中地区)



高田 卓司 議員

# 川に魚の戻れる魚道を造るべきでは

町長／県へ要望する

## 問

最近では公共工事において、生態系保全、自然環境保全を考えた材料工法が行われている。川を下った魚が2度と川や池に戻ってこられない。原因としては川の構造にある。

何か所も大きな段差があるため、そこから上流に登れないことが原因である。

**①**魚が戻れる魚道を造るのは常識であるが、造る考えはないか。

**②**里見川、新庄川、干川には何か所も1m以上の段差があつて魚介類が上流に上がれない。特に役場前は絶対に上がれない。

い。

魚が登れる階段を県と相談し改修すべきではないか。

## 農林建設課長

改正された河川法では、治水対策、利水対策に加え生物の生育、生息環境等に配慮した整備が求められている。全ての施設に魚道を確保することは財政的に困難である。県や近隣の市、町の取り組みも参考にしながら検討したい。

## 町長

昔からいた魚が住み続けるよう県へ要望し、魚が上れるよう検討する。



新庄川

小野 光三 議員



## 町道229号線に街路灯を設置しては

農林建設課長／交差点付近に照明を設置

**問**

町道229号線が開通して8カ月が経過している。

現在多くの車が、朝夕制限速度以上の速度で通行している。

歩行者、自転車で行っている人にとつて非常に危険なことである。急速に安全対策が必要だと考えている。

また、夜の町道229号線は、暗くなつてから車で通ると歩行者や自転車が非常に見づらく、危険なことが多い。このために街路灯を設置してはどうか。

**農林建設課長** 町としては、路面に減速マークを設置するなど、通行車



新設された街路灯

面に減速を促す対策を検討をする。

また、街路灯は、歩道が設置しており、車道・歩道が完全に分離していることや、大きなカーブもなく道路の見通しもよく、全線にわたつての道路照明の設置は考えていない。

現在、交通指導員からの強い要請もあり、つばきの丘運動公園からおりてきた町道と里見229号線の交差点付近へ照明を設置する。

また、図書館から229号線への出口付近についても、今年度中に設置したい。

**問**

平成24年4月の全国共通学力テストによれば、県の小学6年、中学3年の学力は全国最低レベルにある。

町では、小学校中学校が連携して学力向上の重点目標として、論理的に書く力の育成、家庭学習の充実に取り組んでいるが、結果を出すために次の2点を行つてはどうか。

① 授業数の確保するために土曜日授業を実施する考えは。

② 文部科学省は、小学6年、中学3年の全国学力テストを市町村教育委員会による学校別の成績公表を来年度から認めると発表した。町も公表するの。

**教育長**

① 現在の里庄町の学力は、全体的には特に心配をする状況ではない。

町では、現在文部科学省が示す各教科の標準時間数を十分確保ができています。教育委員会議でも議論をしている。すぐに土曜日授業を実施する考えはない。

② 来年度の学力調査の実施要領では、調査結果の取り扱いにいくつかの配慮事項が示されている。数値による順位を付した公表は行わない。

学校や地域の実情に応じて結果を公表しない。学校別の公表については過度な競争や学校の序列化を招かないよう慎重に議論を尽くす必要がある。

## 小・中学校の土曜日授業を実施する考えは

教育長／実施をする考えはない

と考えているので、現在では学校別の公表は考えていない。

# 落ちこぼれて学習できる

## 環境整備とは

教育長／平素から子どもたちを認めていく



眞野 博文 議員

**問**

①教育県岡山の復活について、

教育長は子どもが落ちこぼれて学習できる環境を整備することが大事だと発言したが、具体的に考えていることを教えてください。

**教育長**

①子どもたちは、やる気と正しい

ことを判断できる力が必要。そのために、先生方は、できたこと、頑張り、素直さを認めていく。家庭では平素から子どもたちを認めてもらう。そうすれば厳しく言われても、素直に心の中に入っていく。

②行政も学校も、保護者の方にもいろいろなきちんと説明をしていくこと。

研修会等も含めて、保護者の方にも協力を得たい。

③今までも地域の方々の力は多くもらっている。今後さらさら協力をお願いする場面が出てくる

が、その時はお願いしたい。④いくら一生懸命やってもいじめがゼロになるということは難しいと考える。学校関係者、保護者、地域の方々からの情報等も大事にしながら、いじめがない里庄町を目指して努力していく。

ていくのか。  
 ③ 実際地域の住民はどのような支援を行えばよいのか。  
 ④ 暴力行為、非行等は関係機関が一体となり抜本的対策を行うというが、当町はどんなことを行うのか。



新成人、これからも仲良し

# 公会計制度は利点もたくさんある

町長／できるだけ早くつくる

**問**

財政状況は将来負担比率を例に出して、県内唯一の健全な状況であると説明しているが、行政用語で説明されても、ぴんとこない。町民、住民と一緒にまちづくりを行うのであれば、誰が見てもわかるもので説明していく必要がある。

公会計制度は、時間も手間もかかるが、利点もたくさんある。前向きに取り組んでほしい。

町民全体で意識を共有できれば、まちづくりも前に進む。

**総務課長**

公会計制度は、現在進んでいない。これから検討したい。

**町長**

会計を公会計、企業会計にしても、町民がどこまで見るのか疑問。わかっただけのために地区懇談会を開催し、説明する。

公会計を行政改革大綱に記載している以上、できるだけ早く準備してつくる。

その他の質問

- Q 企業への支援策は
- A 今、具体的内容を考えている
- Q 就職支援策は
- A 町内企業にお願いしている
- Q 海抜表示板等の設置を
- A 年度内に設置する

辻田 勝之 議員



# 財政問題、指針を尋ねる

町長／基金を大きく取り崩すことはない

問

11月13日、来年(平成26年)に実施する町長選挙に出馬の表明をした大内町長に2期8年が経過し3期目の決意を聞く。

どのような方針を持ち、どのような考え方を持っているのか。

まず、財政問題。税収の観点とあわせ指針を尋ねる。

町長

里庄町は一般的には健全な財政を保っていると言われているが、豊かではない。

どこの自治体も、財政的にはかなり厳しい状況にある、もちろん里庄もそのような状況にある。

8年間で運動公園、229号線、公共下水、3つの事業が重なっていた。

運動公園が完成するまでは町営墓地はつくりたくないとして、公園が終わり町営墓地も完成し売り出した場合、財政的な負担はそんなにない。

一番負担の多い公共下

水は約半分できたので、事業規模を半分にして財政の負担を軽くすることで基金を大きく取り崩すことはないと考えている。

だからこの8年間も割と健全にやってきたつもり。

## 教育委員会は

## どちらがいいのか

町長／独立した今の形がいい

問

教育問題。町長傘下に入る教育委員会と教育長を中心とする教育委員会、町執行部とが並んでいる状態、これからはどちらがいいのか尋ねる。

町長

その件は、国、県でいろいろ問題になっている。法律的には教育委員会は厳然と独立したものになっている。基本的にはそのほうがいいと思っている。

ただしいろんな場合に

迅速に対応できていないという弊害も指摘されているが、最終責任を首長が持つ形にすると首長の一方的な考えが強く反映するおそれがある。そういう意味から今の形のほうがいい。

問題解決の判断を含め早急な対応が求められる。

問

比較的健康で頑張れる人が高齢者の中で、非常に多いと聞いている。しかし、75歳を過ぎるとだんだん頭の働きも落ちてくる。少子・高齢者対策は。

町長

町長になり8年間、まず少子・高齢化という中で少子化対策に重きを置いてきた。そしてまず人口を増やすという形でやってきた。

## 少子・高齢者対策は

町長／今後は高齢者の希望、

思いを的確に把握

つもり。現実的には定住の若者も増加、子どもも若干増えている。

幼児、教育(小・中学校)の施策を実施。今後は高齢者のことを国、県の制度だけでなく、高齢者の希望、思いを的確に把握し個々にそういう人のニーズを聞いて健康で地域で孤立しない、そういう施策をある程度、町独自で行う。

その他の質問

- Q 小・中学校の教育のあり方や教育理念は
- A 知育、徳育、体育を充実していく
- Q 災害対策は
- A 自主防災組織を立ち上げたい

人数いっぱい！  
元気いっぱい！

本村子供会

本村子供会は、幼稚園から小学6年生まで51名の大所帯です。

一年間の行事は決まっており、それに向かって地域の皆様に協力を頂きながら親子で取り組んでいます。

春は、遠足やレクリエーションを計画。

夏は、分館の盆踊り大会に参加。踊りの最後には福まきがあり、子供達の歓声で楽しい夏の一夜が終ります。

秋は、天満神社の秋祭。神輿を奉納した後、分館内を親子・消防の方と元気に練り歩きます。

境内では、伝統行事である5年生男子による合せ太鼓。女子は、5・6年生による「浦安の舞」「よへほ」を奉納します。夏休みに入ってから、男

女共に練習します。太鼓は、3～5年生男子が手に豆を作りながら、踊りは、慣れない動きを覚えようと、それぞれ頑張っ

て取り組んでいます。冬は、クリスマス会。

今年は何キ作り挑戦個性あふれる作品が出来半日でしたがゲーム等して楽しく過ごせました。

年末には5・6年生が消防の方と夜警を行い、一年の行事が終わります。

最後になりましたが地域の皆様には、いつも子供達の登下校時のパトロールや声掛け等をして頂き、大変感謝しております。これからも子供達が安心して過ごせる地域づくりを分館全体で取り組んでいきたいと思います。



### 《第75号》

平成26年1月31日 発行

発行／岡山県 里庄町議会  
〒719-0398

岡山県浅口郡里庄町  
TEL(0865)64-7217  
FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satoshio.okayama.jp

### ●あしがき

新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。

今年は、2月7日からソチオリンピックが開催されます。フィギュアスケート、スキージャンプ、スピードスケートなどの選手の活躍が期待されます。ぜひメダルを獲得してほしいと願っています。

本年も、議会だよりを「より親しみやすく」「より読みやすい」紙面にしていきたいと思っています。

(小野)



### 編集委員

委員長：眞野博文 副委員長：小野光三 委員：松原繁之 委員：岡村咲津紀